

此島すみ子の伝言板

No.22



地域での共助が大切な時代

終戦直後のベビーブーム時代に生まれた「団塊の世代」(約690万人)が2007年から大量に定年退職し、日本は大きな転換期を迎えようとしています。戦後の日本の高度経済成長を支えてきた経験豊富なベテランたちが、社会の第一線から一斉にいなくなり、そして労働力人口が120万人減っていくとも言われています。

60代は、元気いっぱいですから、地域の中で活躍出来るよう、また多様な生き方・働き方が出来るよう、行政としてもサポートしていく必要があります。今までやりたいと思いつながら出来なかったこと、また新しいことにも挑戦して、第2の人生を自分らしく、人間らしく生きられるよう、また誰もが健康で長寿を喜べる持続可能な社会を築くために、私も精いっぱい頑張っています。

皆様の真心に支えられて走っています！

新潟中越大地震の救援募金に続き、パキスタン大地震被災者救援の会のみなさんと共に、公明党区議団も募金活動を行いました。

多くの皆様の真心のご支援に、心から感謝申し上げます。



児童手当が拡充されます。小学校3年生→6年生所得制限も拡充で、90%の人に支給されます。

(平成11年第3回定例会で)提案した、全児童対象の放課後対策事業"子どもスキップ"がついに実現いたしました！

近年、少子化に加えて、塾・習い事などで小学生の放課後の時間が様変わりし、遊びたくても友だちが見つかりづらかったり、遊ぶ時間が少なかったりする現状があります。そこで、放課後のさまざまな活動を通して、多くの子どもたちが友だちと関われる「子ども同士の遊びと交流の場」スキップが出来ました。

遠山文部科学大臣が「青少年の問題行動は、家に帰っても誰もいなかったり、家庭崩壊していることも要因」と言われたように、放課後や休日に親のいないことが多い最近の子どもたちのため、時代の要請に適応した大変重要な事業になるものと考えます。

さくら小・高松小では既に実施されており、長崎小・千早小は20年度に実施される予定です。

お友達とたくさん遊んでね！

すみ子の実績



(平成14年第3回定例会で)提案した"校庭の芝生化"第1号が高松小学校で実施されます！

芝生は転んでも衝撃が少ないので、子どもが怪我を恐れず、はだして遊んだり、寝そべったり転げ回って遊ぶことが出来ます。また周辺住民の方から寄せられる校庭の砂ほこり対策や、環境教育にも役立ち、さらにヒートアイランド現象の緩和にもつながります。子どもたちのよろこぶ顔が目に見えます。

発行人 谷井昌和
住所 要町3-4-13
☎3957-7041

